

## 2023年度 国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	2	年次／コース	高校2年生／GA/GS
使用教科書	精選論理国語（東京書籍）						
副教材など	新成現代文2（尚文出版） 新訂 国語図説 五訂版 デジタル版（京都書房） 新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版（桐原書店）						

## 1. 学習の到達目標

## ●科目について

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。大学入学共通テスト模試（2月）で得点率70%を突破する。

## ●コンピテンシーについて

論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文章における本質的な問いに注意し、論旨を把握することができる。自らの考えを、根拠を挙げつつ、工夫された構成の文章として提示できる。文章や社会生活上で提示された課題について、文章上およびその他の情報を参考に、解決に向けて問題を焦点化できる。

## 2. 学習方法について

## ●授業中において

板書をきちんとノートに記録することはもちろん、口頭でされた質問や解説も適宜メモをとる。特に論述レポートや口頭発表などのパフォーマンス課題において自分の理解の成果を示すことができるように努力すること。

## ●家庭学習において

指示されている、されていないにかかわらず予習・復習を行う。本文を何度も通読し、抽象的な表現や論理の複雑な箇所についてはわかりやすく説明できるようにする。小テストは満点を取れるように学習して臨む。問題演習は考えた手順を書き込み、復習の際に点検できるように学習する。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 常用漢字を読み書きでき、文や文章の中で使うことができる。 <u>『新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版』第3章～第4章を扱う。</u>	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法 【】は略	パフォーマンス課題【バ】授業・家庭学習の成果【成】リフレクション【リ】 予習（読解シート）【予】定期考査【考】 単元テスト【単】小テスト【小】	【バ】【成】【リ】【予】 【考】【単】【小】	【バ】【成】【リ】

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	「ミロのヴィーナス」	・具体例に注目して、筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <p>・「譲歩」を用いた表現や、具体と抽象の関係、疑問を含む表現などの重要性について説明している。</p> <p>・「特殊」「普遍」「逆接」という概念語について理解し、説明している。</p> <p>②：「ミロのヴィーナス」という具体物と、芸術における美という普遍性との関係を読み取って、説明している。</p> <p>・ミロのヴィーナスの復元案に対する筆者の主張を読み取って、説明している。</p> <p>・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解し、説明している。</p> <p>・復元案を取り上げた筆者の意図を理解し、筆者の伝えたいことを捉えて、説明している。</p> <p>・抽象的語句や逆説的、比喩的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解し、説明している。</p> <p>③：本文の理解を踏まえ、たうえて、「芸術」についての見方を深め、説明しようとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
	論理とは何か	・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどのようなことかを学ぶ。	○	○	○	<p>①：前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解し、論理的文章における展開の方法とつなげて捉えている。</p> <p>・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解し、筋道だった文章における情報の関係性を的確に捉えている。</p> <p>②：取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにして、文章の内容を批判的に捉え、論点を明確にしながらかいていく。</p> <p>③：「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながらかいていく。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
	「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <p>・具体例（現象）とその一般化の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。</p> <p>②：言語表現と自我の構造について、「日本人」と「西欧人」の違いを整理して理解し、説明している。</p> <p>・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考え、疑問点を的確に説明している。</p> <p>・日本とアメリカの学生の考え方の違いを読み取り、説明している。</p> <p>・日本人の言動の傾向と、自我の構造についての筆者の考えを読み</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】

				<p>取り、説明している。</p> <p>・日本語の「相対的な自己表現の言語習慣」と「日本人の自我の構造」のつながりを理解し、説明している。</p> <p>・筆者の主張と、自分の調査した結果を関連づけながら整理・分析して、言語と自己把握との関わりについて、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。</p> <p>③：言語と自己把握の関連性について、本文の理解と自己の調査結果から自分の考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。</p>		
質問する力	・質問の意義や種類を学び、よい質問をする力を養う。	○	○	○	<p>①：論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解し、観点を押さえた適切な質問を考えている。</p> <p>・三つの観点を念頭に置いて、論理的文章を検証し、その文章の内容に応じた適切な質問を考えている。</p> <p>②：取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考え、それ以外の観点もあることを理解して読んでいる。</p> <p>・取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよし悪しとの関連を考えながら読み、的確でよりよい質問の内容を意識して、自分の考えを深めている。</p> <p>③：論理的文章におけるよりよい質問とは何かを理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
一学期パフォーマンスWEEK						
ベネッセ総合学力テスト 7月過去問演習		○	○	○	<p>①：演習で取り組んだ知識・技能分野の問題について確実に理解し、習得している。</p> <p>②：文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要な条件をふまえて要約や詳述をすることができる。</p> <p>③：自ら進んで本文の内容を理解し、ワークシートにまとめたり、説明したりしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
「科学的『発見』とは」	・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <p>・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。</p> <p>・「主体」という概念語について理解し、説明している。</p> <p>②：段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的主張（答え）を読み取り、端的に説明している。</p> <p>・「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを読み取り、根拠を示しながら説明している。</p> <p>・「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取り、説明</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】

					<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取り、説明している。</li> <li>・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解し、説明している。</li> <li>・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけながら、「科学的視点」についての自分の考えを深め、根拠をもって説明している。</li> <li>・二つの課題を追体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。</li> </ul> <p>③：本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深め、説明しようとしている。</p>	
要約する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。</li> </ul>	○	○	○	<p>①：文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解し、主張と根拠、具体例などの関係を適切に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解し、それぞれの関係性を適切に捉えている。</li> </ul> <p>②：取り上げられた問題について、問いと答えの構造に注目して中心的主張や論理の展開を的確に捉えている。</p> <p>③：論理的文章の構造と要約の関連性を理解し、他の文章についても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
「分人とは何か」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。</li> </ul>	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提起とその答え、具体例と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。</li> </ul> <p>②：筆者が独自に定義した「分人」という概念を、「個人」との違いや具体例をもとに読み取り、説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人」という概念と、「本当の自分」との関連性を読み取り、説明している。</li> <li>・「分人」のネットワークには中心が存在しない理由を、「本当の自分」が「キャラ」を演じるという一般的な考えと対比して捉え、説明している。</li> <li>・「分人の数」や「分人のサイズ」の変化と人間関係の関連性を読み取り、「分人」の特徴をまとめ、説明している。</li> <li>・文章中に「私たち」を多用する筆者の意図を読み取り、説明している。</li> <li>・「キャラ」を演じることに対する筆者の主張を、同テーマの他の文章（「メディアの変容」）と比較して、考え方の違いを理解し、的確</li> </ul>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】

					<p>に説明している。</p> <p>・筆者の主張と、同テーマの他の文章の視点の違いを考察して、人間関係における「私という存在」について自分の考えを深め、根拠をもって説明している。</p> <p>③：人間関係に対する考え方を、「分人」という筆者の観点から捉え直し、自分と身近な人間関係について考えを深め、説明しようとしている。</p>		
	つなげる力	・「接続関係」について学び、文章を論理的に理解する力を養う。	○	○	○	<p>①：文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解し、適切な接続表現を用いている。</p> <p>・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解し、使われている接続表現を適切に捉えている。</p> <p>②：取り上げられた問題について、接続表現に注意して内容を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。</p> <p>・取り上げられた問題について、接続表現に注意して論理の展開を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。</p> <p>③：さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
一学期期末考査							
2 学 期	パフォーマンス課題			○	○	<p>①：課題に取り組む中でテーマに関連する知識を確実に身につけている。</p> <p>②：課題の目的・指示を的確に理解し、自分の考えや作品の主題について表現することができる。</p> <p>③：課題の主旨を理解して積極的に取り組んでいる。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
	「メディアの変容」  文章を読み比べるために	<p>・挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。</p> <p>・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。</p>	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <p>・「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。</p> <p>②：社会の「価値意識」と「人間関係」の関連性について、そのつながりと変化を読み取り、説明している。</p> <p>・近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かった時代と比較して読み取り、説明している。</p> <p>・人間関係の「ユートピア化」と「ディストピア化」について、人間関係の自由化と価値意識の多元化に関連させて読み取り、説明している。</p> <p>・価値意識の多元化社会において「キャラ」を演じる理由を読み取り、説明している。</p> <p>・予定調和を重んじる人間関係の落とし穴とは何かを読み取り、リ</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】

				<p>アルな人間関係の重要性を理解し、説明している。</p> <p>・「キャラ」という概念について、「分人とは何か」と比較して検討し、筆者の立場や考え方の違いをまとめ、説明している。</p> <p>・筆者の主張と、「分人とは何か」を比較して共通点・相違点を整理・分析し、現代の人間関係について、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。</p> <p>③：二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。</p>		
図表の読み取り方  地方都市を考える	<p>・統計資料をもとに地方都市の在り方を論じた文章を読み、説得力のある根拠の示し方を理解する。</p> <p>・図表の読み方を理解し、情報を適切に読み取れるようにする。</p>	○	○	○	<p>①：他者の意見→反対意見の論拠(図1・図2・図3)→現状分析(図4・図5)→筆者の提言という本文の論の構成を理解し、建設的な反論方法について説明している。</p> <p>・他者の意見に対して、図表の読み取りをもとに納得できる根拠や論拠を挙げて反証する方法を理解し、説明している。</p> <p>・地方都市の人口減少という実態の原因について、複数の資料を関連づけて分析し、新たな視点を提示する推論の仕方を理解し、説明している。</p> <p>②：取り上げられた他者の意見と、それに反対する筆者の意見を端的にまとめ、論点や提示された図表の妥当性を吟味している。</p> <p>・図1～図5までのグラフから読み取れる事柄を整理し、筆者の意見の根拠と整合性を確認している。</p> <p>・反論を予想して、譲歩表現や対比表現を用いたり、資料を引用したりすることにより、説得力のある記述となることを理解し、説明している。</p> <p>③：統計資料の分析に基づく建設的な反証の方法を理解し、説得力のある推論の仕方や根拠の示し方についての考えを深め、まとめようとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
ベネッセ総合学力テスト 11月過去問演習		○	○	○	<p>①：演習で取り組んだ知識・技能分野の問題について確実に理解し、習得している。</p> <p>②：文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要な条件をふまえて要約や詳述をすることができる。</p> <p>③：自ら進んで本文の内容を理解し、ワークシートにまとめたり、説明したりしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
二学期パフォーマンスWEEK						
「[リスク]と[リスク社会]」	<p>・対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念につ</p>	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <p>・「近代」「主体」「パラドックス」という概念語について理解し、説明している。</p> <p>②：近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リス</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】

		いて理解を深める。			<p>ク」の増大の関連を読み取り、ベックの主張を説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの例（英語の「danger」と「risk」の対比・医師と患者の対比）を捉えて、「リスク」の概念について理解し、説明している。</li> <li>・対象への関与可能性の有無による「リスク」と「危険」の違いを読み取り、ルーマンの主張を説明している。</li> <li>・「制御可能性」の高まりと「リスク」の関連性を読み取り、「近代という時代の根本的な性質」との関わりを捉え、説明している。</li> <li>・筆者の主張と、「リスク」について考察したほかの文章や資料を関連づけて、近代社会における「リスク」について、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。</li> </ul> <p>③：筆者の主張を踏まえて、「制御可能性が高まっていくこと」による「リスク」が生じる例について、関連する文章やこれまでの知識・経験をもとに、自分の考えを深め、根拠をもって説明しようとしている。</p>	【パ】 【単】 【考】	
	大学入学共通テスト 模試 過去問演習		○	○	○	<p>①：演習で取り組んだ知識・技能分野の問題について確実に理解し、習得している。</p> <p>②：文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要な条件をふまえて要約や詳述をすることができる。</p> <p>③：自ら進んで本文の内容を理解し、ワークシートにまとめたり、説明したりしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
二学期期末考査							
3 学 期	パフォーマンス課題					<p>①：課題に取り組む中でテーマに関連する知識を確実に身につけている。</p> <p>②：課題の目的・指示を的確に理解し、自分の考えや作品の主題について表現することができる。</p> <p>③：課題の主旨を理解して積極的に取り組んでいる。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】
	「『環境』とは何か」	・「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いを含む表現とその答え、具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。</li> <li>・「主体」「二元論」という概念語について理解し、説明している。</li> </ul> <p>②：五つの段の小見出しと、それぞれで取り上げられていることを整理して、全体の構成を理解し、説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考実験」より分かったことを読み取り、「環境」を考える哲学的視点を理解し、説明している。</li> <li>・マダニとムササビの例で筆者が言いたかったことを読み取り、説</li> </ul>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】

				<p>明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間にとっての環境」の構造を、第三段をもとに整理してまとめ、説明している。</li> <li>・「社会環境」の変化について、「農耕の成立以前と以後」「産業革命以降」の時期ごとに読み取ってまとめ、説明している。</li> <li>・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取り、説明している。</li> <li>・<u>持続可能な社会環境の実現に向けて、企業やNPOなどが行っている最先端の取り組みや事例を収集・分析し、分かったことや考えたことをまとめ、説明している。</u></li> </ul> <p>③：本文の理解を踏まえて、持続可能な社会環境を実現するための具体的な取り組みについて自分の意見をまとめ、説得力のある説明をしようとしている。</p>		
<p>「『である』ことと『する』こと」</p> <p>実在論 VS 唯名論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。</li> <li>・書かれている内容を理解し、「『である』ことと『する』こと」を読み深める。</li> </ul>	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二項対立の論理構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。</li> <li>・「近代」という概念語について理解し、説明している。</li> </ul> <p>②：「である」の論理・価値と「する」の論理・価値を、具体例をもとに読み取り、説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「時効」「日本国憲法の第十二条」「近代社会の自由とか権利」の例を通して、権利者「である」ことと権利を行使「する」ことの論理を理解し、説明している。</li> <li>・「である」論理から「する」論理への重点の移動という「近代精神のダイナミックス」を理解し、説明している。</li> <li>・徳川時代の例を通して、「である」社会の価値基準や儒教的な道徳を理解し、説明している。</li> <li>・「である」社会から「する」社会へ移行する社会的要因や、「する」価値の浸透落差による近代日本の状況を読み取り、説明している。</li> <li>・文化的創造における「である」価値の重要性を読み取り、説明している。</li> <li>・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取り、「倒錯を再転倒する道」についての筆者の考えを理解し、説明している。</li> </ul> <p>③：本文の内容を踏まえて、「である」価値と「する」価値という観点から自分の身近な出来事を見直して考えを深め、説明しようとしている。</p>	<p>【小】</p> <p>【予】</p> <p>【成】</p> <p>【リ】</p> <p>【パ】</p> <p>【単】</p> <p>【考】</p>



<p>「日本人の美意識」</p>	<p>・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。</p>	○	○	○	<p>①：本文の語句について、その意味や使われ方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二項対立の論理展開，具体例や引用と抽象の関係を読み取り，筆者の主張を理解し，説明している。</li> <li>・「差異」「近代」という概念語について理解し，説明している。</li> </ul> <p>②：「うつくし」「きよし」という言葉の意味の変遷を読み取り，説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うつくし」から考えられる日本人の美意識を，本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解して，説明している。</li> <li>・「きよし」から考えられる日本人の美意識を，本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解して，説明している。</li> <li>・日本人の美意識が倫理観と結びつき，生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取り，説明している。</li> <li>・教科書巻頭の三つの絵と本文を相互に関連づけながら，日本と西欧の絵画の違いを，表現上の特色や構図，画家の視点から読み取り，説明している。</li> </ul> <p>③：日本人の美意識と，倫理観や生活行動の関連性について，身近な例を挙げながら筆者の見解を検討し，自分の考えを的確に論述しようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【単】 【考】</p>
<p>学年末考査</p>						